

〔今回の旅人〕 相撲正一さん（岐阜県在住）

歴史の記憶を語り継ぐ

瀬戸内海・小島の砲台跡をめぐる旅

「長寿の最大の秘訣は旅すること」と、自分でひとり旅を企画し存分に楽しんでいる岐阜県在住の相撲正一さん。

今回の旅先は、明治時代に築かれた要塞が残る島、小島。鉄道からフェリー、バス、自転車、小型船と乗り継いで、瀬戸内海に浮かぶ小さな島に向かいました。

START 1日目



大阪と九州・四国を結ぶフェリーが発着する大阪南港フェリーターミナル

オレンジフェリー（大阪予約センター ☎06-6612-1811）の「おれんじ8」で四国入り



築城の名手として名高い藤堂高虎が設計した今治城。堀に海水を引き込んだ日本屈指の海城で、吹揚城の別名を持つ

今治城

いまぱりじよう ☎0898-31-9233
愛媛県今治市通町3-1-3 ☎9~17時 ⑥なし ⑤500円（天守、櫓などの共通観覧料） JR予讃線今治駅からせとうちバス今治営業所行きで約10分、今治城前下車すぐ



波止浜港

はしはまこう 愛媛県今治市内堀1 JR予讃線波止浜駅から徒歩18分 ＊来島～小島（～馬島）を結ぶ定期船くるしま（☎0898-41-8425）は1日10便（季節変動あり）

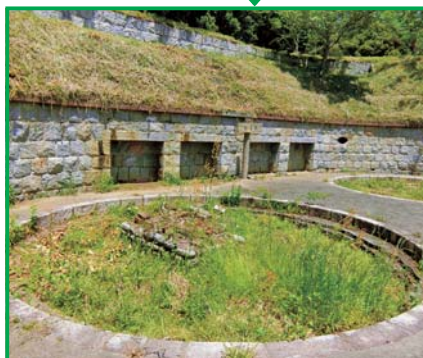
波止浜港に停泊する定期船「くるしま」。村上海軍の本拠地のあった来島と小島、馬島を結ぶ



二十八糎榴弾砲のレプリカ。5年前に小島港に移設された

お小遣い合計
32,510円

■ JR、フェリー、レンタサイクル、バスなど	16,320円
■ 宿泊代（1泊2食）	9,200円
■ 食事代	4,880円
■ 入館料など	1,400円
■ 土産代	710円



左上・司令塔跡 左下・発電所内部 右・中島砲台跡

芸予要塞跡

げいようさいあと
☎0898-36-1541（今治市観光課） 愛媛県今治市来島小島35 ☎⑥⑤見学自由 JR波止浜港から定期船で約10分 ＊見学の際は水分などを持参のこと。小島港そばに、小島観光休憩所（無人）あり



JR東海道線関ヶ原駅から大阪南港まではJR、大阪メトロ経由で約2時間30分

夜行フェリーで四国に上陸

75歳を過ぎてから、旅することが長寿の最大の秘訣と信じ、自分で企画したひとり旅を思う存分楽しんでいる。今回計画したのは、愛媛県今治市小島の芸予要塞跡めぐり。ここには明治30年代に大日本帝国陸軍の施設が築かれ、島内には日露戦争当時、ロシア艦隊に備えて作られた砲台や弾薬庫、司令塔などの史跡が残っている。私の住む関ヶ原町にも旧陸軍の火薬庫跡があるので、その保存方法や歴史遺産としての活用状況を勉強したかったのだ。

往路は大阪南港22時発の夜行フェリー「おれんじ8」で向かった。出航2時間前には乗船可能で、ゆつくり食事、ゆつたり入浴もできる。翌朝6時に東予港に到着。定期バスで今治へ。駅前でレンタサイクルを借りて、まずは関ヶ原合戦で軍功を上げた藤堂高虎が築いた今治城にご挨拶。そこから走ること約20分。予定より早く、小島へ渡る波止浜港に着いてひと安心。

昔は広島県へ定期船が出ていたという波止浜港から、小型の定期船「くるしま丸」で5分です。来島港、さらに5分です。小島港まで。私を含め、乗客は3人。そのうちひとりとは郵便配達を依頼されている人で、島のことならなんでも知っている。今は戸数8、10人が住んでいるという。

小島港には、かつてのNHKドラマ『坂の上の雲』のロケに使用された二十八糎榴弾砲のレプリカがどんと備えられていて、その威容にこれから行く跡地への期待が高まった。

皆さまからのプランをお待ちしています！

「私のひとり旅」では、あなたのとっておきの旅プランを募集しています。鉄道旅、趣味の旅など、旅行のスタイルは問いません。あなたにしかできないこだわりのひとり旅のプランをご提案ください。実際に旅をして頂き、原稿執筆の謝礼として採用された方には、3万円を差し上げます。旅費はご負担ください。

応募要項

以下の所定事項をご記入の上、郵送・FAX・メールにてご応募ください。①名前(フリガナ) ②住所 ③電話番号 ④FAX番号 ⑤読者番号(11桁) ⑥Eメールアドレス ⑦生年月日 ⑧性別 ⑨ご職業 ⑩あなたの旅行プラン(ルートや予算などなるべく具体的に)

郵 送 ▶ 〒162-8446 東京都新宿区
 払方町25-5 JTBパブリッシング
 ノジュール「私のひとり旅」係
 FAX ▶ 03-6888-7839
 メール ▶ nodule-edit@rurubu.ne.jp
 ※いずれも「ノジュール 私のひとり旅」と明記のうえ、お送りください。



にぎたつ会館の食事

公立学校共済組合道後宿泊所にぎたつ会館

こうりつがっこうきょうさいくみあいどうごしゅくはくじょ にぎたつかいがん ☎089-941-3939
 愛媛県松山市道後姫塚118-2 ☎1泊2食9500円～(年金受給者は8500円～) 伊予鉄道道後温泉駅から徒歩5分

道後温泉街にほど近い、四国八十八箇所霊場第五十一番札所、石手寺

石手寺

いしてじ ☎089-977-0870
 愛媛県松山市石手2-9-21 ☎境内自由 伊予鉄道道後温泉駅から徒歩17分



明治27年に建てられた木造三層楼の道後温泉本館。言わずと知れた道後温泉のシンボル



GOAL



来島海峡SAからの絶景。来島海峡大橋が目前に！

来島海峡SA

くるしまかいきょうサービスエリア ☎0898-33-8633
 愛媛県今治市大浜町3-9-68 ☎フードコート、売店は9～20時(土・日曜は8時～) 無休 JR予讃線波止浜駅から徒歩20分 *サービス施設棟は来年4月までリニューアル工事中、仮設店舗にて営業



伊予国の守護大名、河野氏が築いた湯築城。武家屋敷などが再現されている

道後公園 湯築城跡

どうごこうえん ゆづきじょうあと ☎089-941-1480 愛媛県松山市道後公園 ☎園内自由(資料館など展示施設は9～17時、月曜休館、入館無料) 伊予鉄道道後温泉駅から徒歩3分

松山城。中央の大天守は現存12天守のひとつ。全国的にも珍しい登り石垣が見られる

松山城 まつやまじょう ☎089-921-4873
 愛媛県松山市大街道3-2-46 ☎天守9～17時、ロープウェイ8時30分～17時30分(いずれも季節変動あり) 無休 ☎天守観覧券510円(ロープウェイは片道270円、往復510円) 伊予鉄道大街道電停から徒歩5分



道後温泉でみやげに購入した「坊っちゃんだんご」

予讃線で松山へ行き、今宵の宿、道後温泉のにぎたつ会館へ。食事はどれも美味しく、とくに朝食に出された鯛茶漬の味は格別で、何杯でもお代わりしたかった。翌日は四国八十八箇所霊場の石手寺に参拝したあと、湯築城跡の武家屋敷や、登り石垣が美しい松山城を見学。お土産に坊っちゃんだんごを買い求め、今治から高速バスで、しまなみ海道を通り福山へ。JRに乗り換えて帰って来た。

2 km弱の遊歩道は、海峡の景色を眺めながらの歴史探訪にはほどよい環境で、とても有意義な散策だった。帰りの船でまた郵便屋さんへ会い、島での体験を復唱するかのよう談笑できて、来て良かったと実感した。下船後、再びレンタサイクルで、せつかくだから来島海峡大橋まで走ろうと長い急坂を登り始めたが、途中で息切れ。自転車を押して、やっとのことで辿り着いた来島海峡SAからの多島美には思わず息を呑んだ。

瀬戸内の多島美にうっとり
 いよいよ小島巡りの始まりだ。道路は軽舗装があり歩きやすい。路肩の至るところにイノシシがミミズやタケノコを掘り返した形跡があり、林ではウグイスがひっきりなしに鳴いている。砲台跡は南部、中部、北部と連続的に点在している。内部は撤去されて空洞になっているが、外側は当時のまま。関ヶ原の火薬庫と同様で、地元の人たちによる保存活動が盛んであることの証しだと思った。